

第3章

研 究 報 告

第3章 研究報告

1 研究体系（令和6年度）

No.	研究課題	研究	県施策	共同研究機関	担当部
		年度	項目		
1	環境水サーベイランスにおける病原ウイルスアセスメント	R6-R7	地域の保健医療体制の確立		保健科学部
2	地域の健康課題解決を目的とした保健情報の効果的活用に向けた基礎的研究	R6-R7			
3	残留農薬検査における GC-MS/MS 分析の水素キャリアガス使用の検討	R5-R6	食の安全 安心の確保		衛生科学部
4	ヒスタミン分析法の検討	R6			
5	麻痺性貝毒の推移把握と傾向分析に関する研究	R6			
6	化学物質による環境リスクの把握・低減化に向けたスクリーニング分析法の開発	R5-R7	多様で豊かな 環境の保全	国立環境研究所及びⅡ型共同研究に参画する地方環境研究所、岩手大学	環境科学部
7	地下水中の鉛起源推定手法の確立	R6-R7			
8	岩手県における絶滅危惧植物を対象にした種の存続の技術開発に関する研究	R4-R8		環境省新宿御苑管理事務所ほか	地球科学部
9	ツキノワグマの個体数推定精度の向上ならびに生息密度がツキノワグマの出没に及ぼす影響	R4-R8		岩手大学	
10	イヌワシの繁殖力回復のための保全生物学的研究	R6-R10		京都大学野生動物研究センター	
11	微小粒子状物質(PM _{2.5})濃度の地域的な特性や発生源に関する研究	R6-R7			
計 11 テーマ					

(1) 内部評価及び研究課題ヒアリング

当センターでは、研究の質と成果を確保するため、所長及び副所長による内部評価（事前評価・中間評価・事後評価）を実施しています。また、評価に際しては、年2回の研究課題ヒアリングを実施し、研究担当者による説明と質疑応答を行い、所長及び副所長に加え、専門的な視点を取り入れるため、環境保健研究アドバイザーからも質疑・助言を受けています。

(2) 令和6年度 環境保健研究アドバイザー

氏名	所属・職名	委嘱期間
山崎 朗子	岩手大学農学部 准教授	R6.4.1－R6.9.8
品川 邦汎	岩手大学名誉教授	R6.9.9－R7.3.31